

東豊線新型車両「9000形」の車両設備について

東豊線では、平成28年度に可動式ホーム柵を設置する事業を進めております。この事業に合わせて、従来車両の老朽化更新を行い、新型車両「9000形」を導入いたします。
この度、車両メーカーで製造中の車両が完成しましたので、車両設備をご紹介します。

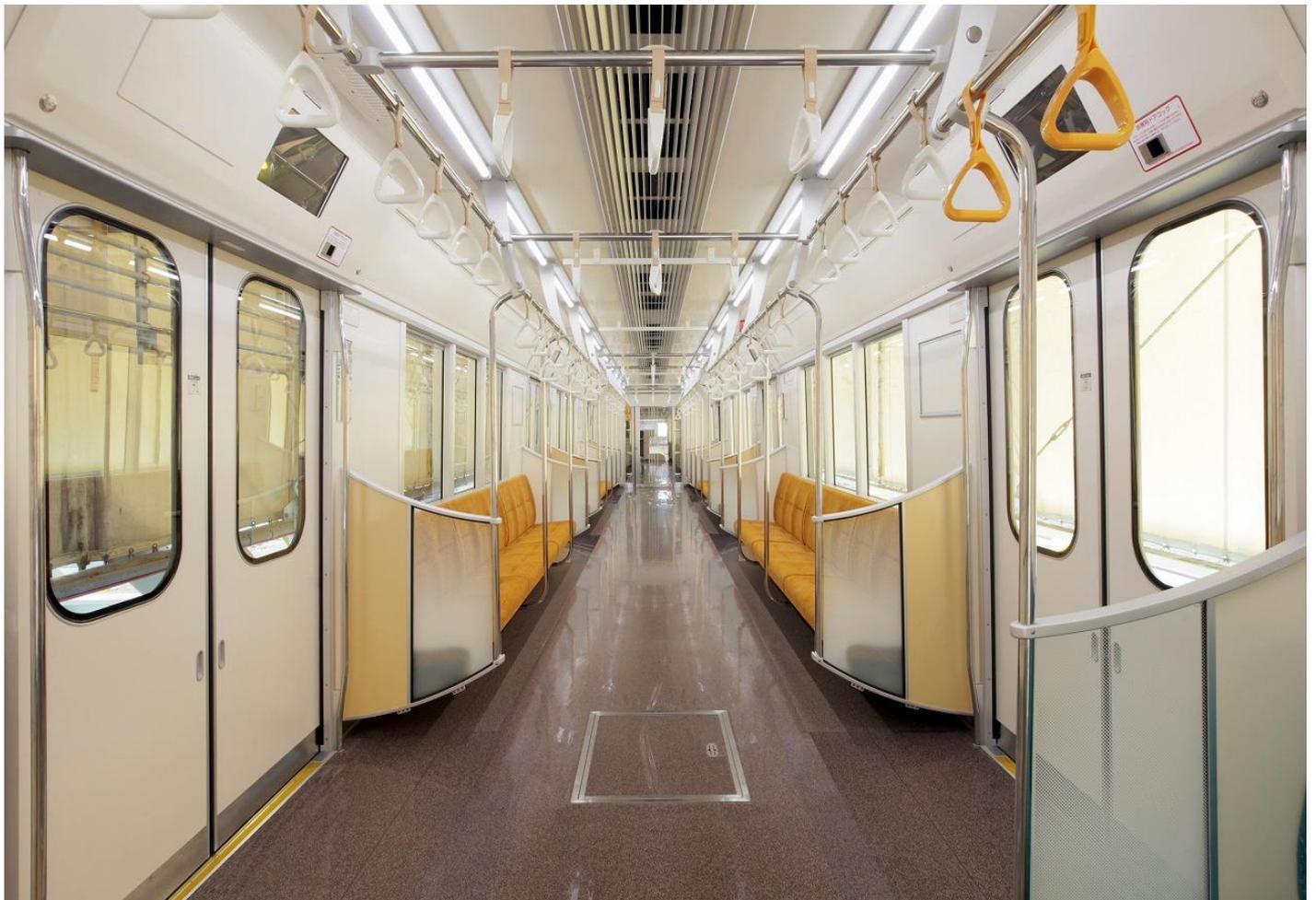
1 車内デザイン

車内のコンセプトを「快適さと温もりをイメージした室内とし、優しさのあるデザイン」とし、心落ち着く快適な空間となるようにデザインしました。

具体的には、色調としてオレンジを中心に車内全体をまとめ、床面には茶系色を使用することで温もりと優しさを表現しました。

また、安全対策はもちろん、各車両に車椅子スペースを設置するなどユニバーサルデザインを導入し、機能性を充実させました。

【車内デザイン】



2 車両設備の特徴

- (1) 車椅子やベビーカーを使用するお客さまが、よりご利用しやすいように、各車両に車椅子スペースを設置しました。また、高低の二段手すりを設置し、軽く腰掛けたり、小さなお子さまが無理なく手すりを握めるようにしました。
- (2) ゆったりと座っていただけるように、座席幅を従来車よりも拡大しました。また、立ち座りしやすいように、縦手すりを設置しました。
- (3) 出入口の識別をしやすいように、乗降口端部の床面に黄色の識別板を設置しました。
- (4) 行先がわかりやすいように、車両正面のほか、側面にも行先表示器を設置しました。
- (5) 乗降口下部の沓ズリを従来車よりも拡大し、車両とホームの隙間を小さくしました。
- (6) 両先頭車のほか、中間車にも非常梯子を設置し、より一層の安全対策を施しました。

(1) 車椅子スペースと二段手すり



(2) 座席と縦手すり



(3) 乗降口端部の識別板



(4) 車両側面の行先表示器



(5) 乗降口下部の沓ズリ



(6) 中間車の非常梯子（設置状態）



3 今後の予定

車両は、平成26年12月中旬に東車両基地に搬入され、車両基地での整備や実際の路線を使用した試験走行などを行い、平成27年4月下旬ごろに営業開始を予定しています。

なお、車両搬入や試験走行などの様子は、後日改めてホームページでご紹介する予定です。